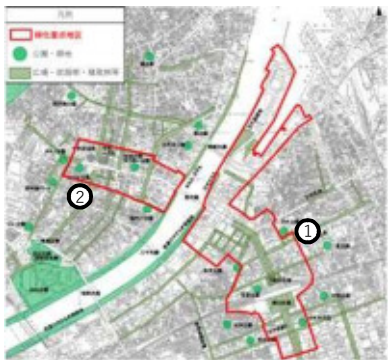


【助成目的】 民有地のオープンスペース等において、緑の創出を行う際の費用を助成することで、民有地の積極的な緑化を誘導

どこで

【助成対象区域】

- 新潟都心地域緑化重点地区内または、その外縁に接している敷地を含む区域



新潟都心地域緑化重点地区

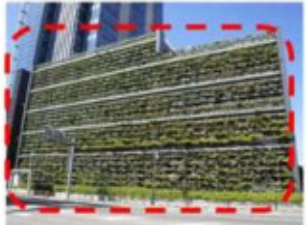


緑化重点地区の外縁に接している敷地の例

★目に入る緑を増やすため、緑化重点地区の外縁に接する敷地も、民有地緑化助成制度の対象とする。

【助成条件：公開性】

- 道路から容易に見ることができる場所での緑化を対象とします。フェンスやブロック塀で隠れている緑化は対象外です。
- 屋上においては、道路から容易に見えない場合でも、一般の人が自由に立ち入ることができる場所であれば対象とします。



どの位

【助成上限・助成率】

- 同一敷地内で複数の緑化を実施した場合は緑化方法毎に計算し、助成を受けることが可能です。ただし、最大助成額は500万円までとします。

緑化方法	上限額	助成率
地上緑化	100万円	新たに植栽基盤を整備する場合：2/3 既存の植栽基盤を使用する場合：1/3
壁面緑化	200万円	
屋上緑化	200万円	

★新たな緑化は初期投資を手厚く！
★今ある緑もリニューアルできる！

【助成対象となる費用】

- 植栽費：植物や土、防草シートや土留め材等
- 植栽基盤整備費：植栽ます、花壇、プランター、壁面緑化資材、看板等
- 灌水施設整備費：散水栓、給水管、スプリンクラー、灌水チューブ等
- 表示板の設置費：民有地緑化助成制度を活用したことを示す表示板

【対象外となる費用】

- 既存の構造物のほか、土や草木の撤去
- ベンチ、テーブル、照明器具などの修景施設
- 維持管理の範疇と判断されるもの

だれが

【利用できる方】

- 敷地及び建築物の所有者、管理者
- 上記以外の方で、所有者等の承諾を得た方



申請者のイメージ（例）

なにを

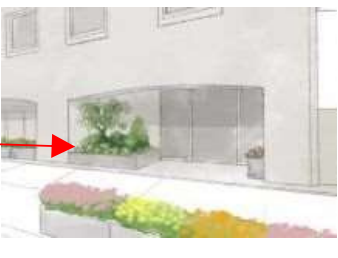
【対象となる緑化（緑化方法）】



どの位

【助成条件：最低緑化面積】

- 地上、壁面、屋上いずれかの緑化方法を単独または組み合わせて最低5㎡を整備すること。
- プランターを使用する場合は容量が50ℓ以上かつ容易に動かせないものであること。
- プランターのみで緑化する場合は、50ℓ以上かつ2基以上の設置を対象とします。



プランター緑化のイメージ

いつまで

【助成条件：維持管理義務】

- 植栽の整備後、5年間は適切に維持管理しそれ以降も維持管理に努めること。
- 維持管理状況の確認等により、適切に維持管理されていない場合は、助成金の返還を求める場合があります。

★「緑化活動推進事業」を活用して、
毎年の花苗購入費の支援が受けられる！